

週報

こひつじ

第40巻 32号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

傷ついてはならない

その二 傷ついた側に投げられたボール

したがって人間関係をよくするには、人を傷つけない努力より、傷つかない心をつけることの方がずっと効果的だろう。

妻が意外そうな顔を見ると、彼は続けてこう言ったという。

長女の夫はアメリカ人なのだが、「傷ついた人に周りの人は同情しアメリカではどうなのだろうと思いません。彼をいたわることもしませんでした。ですから傷ついた人は自分の心をやす方法を自分で考えなければなりません。ボールはどんな場合も傷ついた側に投げられているのですから」

「職場で、人間関係に悩むことはないの？」

彼は答えた。

「自分の職場には一つのルールがあつて、そのおかげで人間関係がこじれることはめったにありません。きわめて高い自立心が求められるアメリカ社会に私は驚い

「だれかが傷ついたら、その責任

しかしそれが現実の社会なので

はないか。

私にも、こんな経験がある。子どもの頃、兄とけんかをする。力ではかなわないが、泣いたあとは私が強い。兄の勉強道具を教科書でもノートでもやたらと投げる。兄は、もともとやさしい性格だから、わかつた、わかつたといつて私をなだめてくれる。そうやって、私は自分のわがままを通したものだ。

家庭では傷つけた兄より、傷ついた私のほうが強かつたのである。だが、それは社会では通用しない。小学生のとき、あることで傷つけた私は、泣きながら自分の鉛筆を折り始めた。自分をあわれまぼくみせるためだ。きつとだれかが同情して止めてくれるに違いないと期待して。ところがまわりの子どもたちは、止めるどころか、こう言つてはやした。

「もつとやれ、もつとやれ」
 子どもの世界はきびしい。いじけた心には、だれひとり同情してくれない。

そのとき私は学んだ。傷ついた心は自分を破滅に追いやるだけだ

「君はこれまでだれもやったことのない困難な戦いを始めようとしている。その戦いに勝つには、偉大なプレーヤーであるばかりでなく、立派な紳士でもなければなら

ない。仕返しをしない勇気を持つ

「君はこれまでだれもやったことのない困難な戦いを始めようとしている。その戦いに勝つには、偉大なプレーヤーであるばかりでなく、立派な紳士でもなければなら

ない。仕返しをしない勇気を持つ

「君はこれまでだれもやったことのない困難な戦いを始めようとしている。その戦いに勝つには、偉大なプレーヤーであるばかりでなく、立派な紳士でもなければなら

ない。仕返しをしない勇気を持つ

かるね」

そう言うやいなや、会長はロビンソンの右の頬を殴ったのだ。

するとロビンソンは答えたそう

だ。「頬はもう一つあります。ご存じですか」

こうして彼は、さまざま嫌がらせにも表情を変えず、紳士であることを守り通した。

人びとはやがて彼の驚くべきマナーに称賛を送り始める。そしてプレーにおいてもその活躍はめざましく、その年の新人王に選ばれた。

こうして彼は、その後、多くの黒人たちが大リーグで活躍する道を開いたのである。

彼が偉大な選手になれたのは何によったのか。決して傷つけない心によったのだ。

(続)

今日の礼拝

○午前一〇時から合同礼拝。

○教会学校は午前一〇時から、こひつじ館で。

○説教は富浦信幸牧師。

○証は妻の富浦彩(あや)さん。

○子どもさんたちの名前と年齢は以下のとおり。

長男 颯(そう) 二一歳

長女 凜(りん) 一九歳

次男 昊(こう) 一七歳

次女 穂(すい) 一五歳

三女 紀(きい) 一三歳

三男 宣(せん) 一一歳

すべて漢字一文字の名前という

のがすばらしいですね。名前をつ

けられたご両親の子どもたちへの

深い思いが感じられます。どんな

意味がこめられているのでしょうか。

聞いてみたいです。

先週の礼拝

○司会は合志文利さん、奏楽は

吉岡裕美さん。

○説教は西岡潤也さん。へブル

書一の一の八から、行き先を知らな

いで出発したアブラハムの人生と

同様、四〇年の自分の人生も、自

分が計画していたものとはずいぶ

ん違うけれど、神様が導いてくだ

さっていたのだなとつくづく思う

と語ってくださいました。

○第二礼拝後、ベニーさんとミ

ツシエルさんの赤ちゃん(ヘイリ

「Haylee」ちゃん)の献児式を

しました。

先週の出席

○第一礼拝が五一名、第二が四

六名、合計九七名(男三一、女六

六)、それに子どもが一二名。合

計一〇九名でした。

○帰省で礼拝に出席した方が多

くありました。

山下啓史さんと長男のひろき君

(埼玉)、江藤いつよさんの長女

宏美さん(兵庫)、三女愛さんと

子どもたち(神奈川)、原夫妻の

長男雄基さん(大分)、野下奈保

美さんの次女由利加さんと子ども

たち(東京)。

七月三〇日(火)台湾台中市の

教会からケヴィン牧師を始め四人

の方が訪ねてくださいました。ご

存じのように、台湾の企業TSM

Cの工場が熊本に建設され、台湾

の方たちがたくさん熊本近郊に移

住されています。

ケヴィン牧師の教会からも四家

族が熊本に派遣されているので、

彼らのために推薦できる教会をさ

がしているとのことでした。そんな中で、インターネットを通して、ぼくたちの教会を見つけ、信仰的に近いのではないかと思ひ、訪ねてくださったわけです。ケヴィン牧師はアメリカの神学校で学んだ方で自由な信仰をもっておられるようでした。他の三人も英語ができましたので、互いに会話がはずみ、よい交わりを持ちました。また大津教会に献金もしてくださいました。九月にまた来られるそうです。そのときは日曜日の礼拝に参加してください。今後の交わりがどう発展するかわかりませんが、お祈りください。

台湾教会からの訪問

七月三〇日(火)台湾台中市の

教会からケヴィン牧師を始め四人

の方が訪ねてくださいました。ご

存じのように、台湾の企業TSM

Cの工場が熊本に建設され、台湾

の方たちがたくさん熊本近郊に移

住されています。

ケヴィン牧師の教会からも四家

族が熊本に派遣されているので、